

5.1chセット サブウーハー センタースピーカー

5.1chのサラウンドセットでは、前からお薦めしてきた「アンソニーギャロ」の製品が光ります。外観が美しく、サイズも手頃で音が良い。3拍子揃った良い製品ですがあまりにも「オーディオっぽくない」外観で損をしているようです。このチラシには、掲載が間に合いませんでしたがaudio-proから新発売された、アルミ製のサラウンドスピーカーも音質と仕上げの良さ、リーズナブルな価格と、これまた3拍子揃った注目の逸品です。

PMC DB1+5.1ch



DB1は昨年ソフトドームツイーターにグレードアップして、DB1+になり大成功をあげました。1つ1つの音に実在感が増し、小さいサイズからは想像できないほどの深いゆったりとした低音・・・このスピーカー5本と定価340,000円もするサブウーファーを組み合わせた超プレミアムシアターセットが、なんと398,000円で買えるのです。このセットであれば6畳くらいのミニシアターから20畳を超える大型シアターまで充分使えます。(松田)

ANTHONY GALLO 5.1ch



かわいいデザインのMICROSATELLITEが5個とACTIVEWOOFER1個の5.1chセット。メインスピーカーの球形で愛らしいルックスに合わせて、サブウーファーもドラム缶の息子の様なデザインでシアタールームに馴染みます。しかもこのサブウーファーはアンプ部とスピーカー部に分かれていて音質にもこだわったつくりをしています。ウーファー用ラインケーブル5m付属。SPケーブルは30m付属しています。ステンレス仕上げだけが非防磁タイプです。(松田)

①VELODYNE CHT-FRS-GV



Velodyneは高級サブウーファーのイメージが強いメーカーですが、こんな小さなスピーカーも作っているのです。さすがはよい音の要件を分かっているだけあって、スピーカーを作らせてもすごいのです！低音の量は超小型スピーカーのなかでは群を抜くほどです。中高域はaudio-proなどと比べるとすこし甘く聞こえますが、音楽が前から飛び出てくる感覚は他社にはありません。(松田)

SA-LOGIC D-QUBE2-TX



サブウーファーって低音を出すだけだからと甘く考えていませんか？いえいえそれは違います。音の土台がしっかりしていないと、上に高い音を重ねてゆけないのです。家の基礎工事と一緒にですね。そのためアンプやスピーカーよりも先進のテクノロジーを必要とするのです。アンプはデジタルアンプ、クロスオーバーネットワークには超高速演算のDSPを使い、全てはにがりのない超低域再生のために捧げられるのです。(松田)

①audio-pro ACEBASS2



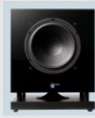
フロントに大きなスピーカーが付いていますが、実はドロンコーン。サイドにある小さい4個のユニットが本物。小さいユニットの方が軽くアンプに負荷をかけずに動くため、レスポンスに優れた低音を出すことが出来るという仕組みです。「ぼこぼこ」と耳障りな音が一切出ないスムーズな本格的なサブウーファーステムの登場です。(松田)

①audio-pro B1.36



映画を見る時には少し欲しい「量感」。しかし量感がありすぎると、音楽を聴くときにはだぶついた低音が耳に付いてしまうものです。このレンズマを解決するのがMovie Adaptive Filterスイッチ(MAF)。映画を見るときだけこのスイッチをオンすると自動的に量感を増やしてくれるのです。これで音楽と映画の両立が出来ますね。(松田)

①audio-pro B1.28



B1.36は8〜15畳くらいの大きな部屋に対応しますが、このB1.28は6〜12畳くらいの部屋に向いています。もちろんMAFスイッチが付いているので、音楽と映画の両立も可能です。(松田)

KRIPSCH RB-35



斬新なデザインに鳴りつうりのよさが評判RF-35。そのブックシェルフ型がこのRB-35。シングルウーハーの為、低域の量感やスケール感RF-35に劣りますが、帰ってバランスが良くなり、高域の透明感が増し全体的に音のぬけがよくなりました。R&Bやセップホップ等を聴く方は必聴です。US産の熱い音に酔いしてください。(須川)

KRIPSCH RC-35



鳴りつうりのよいKLIPSCHのセンタースピーカー。このホーンは中高域を伸びやかにしてくれる良質のものです。メインスピーカーにJBLなどの大型ホーンスピーカーをお使いの方にもピッタリです。きっと部屋の真ん中からハリウッドの名優たちのセリフや歌声を聞かしてくるでしょう。(松田)

KRIPSCH RW-10



クリプシュのサブウーファーだからゆったりと厚みのある低音が出るのかと思いきや、サブウーファーはガツリとシャープな低音が出ていました。さすがはアメリカ1位のスピーカーメーカー、低音とはどういふモノかがよく分かっています。これを輸入しているヤマハもこんな音のサブウーファーを作って欲しいのです。(松田)

HighlandAUDIO DORD 265



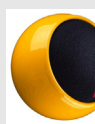
けって超低域の再現性やレスポンスの速さに優れているわけではないが、高域遮断性能に優れており、サブウーファーの性能でいばん要求される部分を見落としておらず、5万円以下の製品では優れた仕上がりだと思います。位相は無段階で調整できるので、オーディオプロのB1.28よりも柔軟な調整が出来ます。(松田)

ANTHONY GALLO A'DIVA 1本



カラー:黒・白・銀
定価34,000円販売価格28,500円/★27,200円
MICRO SATELLITEの直径が2.5cm大きくなるだけで結構ずっしりと大きくなるものです。伸びやかな中高音のキャラクターはそのままだ、そして余裕のある低音がプラスされました。卓上スタンドと壁掛けブラケットが最初から同梱されているのも購買意欲を高めますよね。(松田)

①ANTHONY GALLO MICRO 1本



黒・白 定価20,000円/販売価格16,500円/★16,000円
青・赤・黄 定価24,000円/販売価格20,000円/★19,200円
ステンレス 定価26,000円/販売価格21,800円/★20,800円
「これって目玉親父？」って思いながら、出てくる美しい音色にびくびく。そして、用意されている設置方法の多さに更にびくびく！机の上に置いたりスタンドに立てたりは普通ですが、壁付けや天井付けだけでなく、なんと天井に埋め込みする器具までも用意されているのです。ホントに目立たないところからきれいな音を出す夢が実現できます。(松田)

①audio-pro ALLROOMSAT



スピーカーの箱(エンクロージャー)は、出た音を跳ね返す効果も持っており、広がりが増える要因です。箱が小さくしかも角のない流線型のデザインに更によく広がります。ホントに良いことずめです。繋がりやすい2ウェイはフルレンジスピーカーのように深みのある味わい深い音を出します。7回塗装を重ねた高級な仕上げは一見の価値あり。(松田)

①audio-pro THE CUBE



サブウーファーによく間違われるのですが、れっきとしたスピーカー。下に置いてあるのに、まるで目の前にスピーカーがあるかのようにキチンと音場が広がるのです。もちろんボーカルも中央に定位します。上方に向けたスピーカーの音が、壁や天井などに反射して正しい音場を作り出すのであります。リヤスピーカーを目立つ所に置きたくない場合にも役立ちます。(松田)

①PMC TB2+SM



度重なるマイナーチェンジと値上げ。実力派の新製品の登場で忘れられてしまうようですが、このサイズでこれほどの低音と透明でしなやかな中高域を再現し、しかも大音量でも音像がまったく崩れない優秀なスピーカーは他にはありません。その実力は、良きスタンドを使うとより引き立ちます。

①PMC DB1+SM



このサイズのスピーカーとしては、高額な部類の製品に入りますが、それものはず搭載されているツイーターは上級モデルと同じなのです。精緻という言葉がピッタリと当てはまるその「高性能」を知ってしまうと、他のメーカーに浮気できません。

TANNOY FUSION R



FUSIONシリーズの一番小さな末っ子スピーカー。サイズを感じさせないバランスの良さと、繋がりの良い音で、シアタースピーカーとしても音楽再生専用としても活躍の場を選びません。低価格といえど、仕上げやデザインもTANNOYの名に恥じない立派なものです。(須川)